

ORICNEWS 翔飛

ひし
ょう

No.3 (2004.1)



－目次－

新年の挨拶	2
研修・交流会活動	3
入居者の活動・トピックス	4、5
入居企業の紹介	6、7
第4・5回入居審査会	7
イベント案内	8
入居案内	8

新年の挨拶

21世紀の岡山新時代を切り拓く

岡山県知事 石井 正弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様には佳き初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

「岡山リサーチパークインキュベーションセンター」がオープンして、初めての年明けとなりました。

さて、本年は、快適生活県おかやまの実現を目指した「新世紀おかやま夢づくりプラン」が3年目を迎えることから、岡山県では、昨年策定した「夢づくり政策推進指針2004」に基づき、豊かな県民生活を支える産業・雇用対策や新世紀おかやまを切り拓く"人"づくり、快適で安全・安心な生活空間づくりを最重点に具体的な施策を推進し

てまいります。とりわけ、産業・雇用対策については、大学の研究成果を産業界へ技術移転するための機関「岡山TLO」の創設など、産学官との連携体制を強化するとともに、地方自治体初となる高速基幹回線網IPv6の導入等、本県の産業・経済の活性化を進めてまいります。さらに、「新世紀おかやま夢づくりプラン」を着実に推進し、21世紀の岡山新時代を切り拓くため、「創造のための改革」に全力で取り組んでまいり所存です。

今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

継続的接触による支援充実

ORICセンター長 松尾 彰

新年おめでとうございます。

ORICが昨年4月にオープンしてから9ヶ月が経過しました。初めての新年を迎えるに際し、昨年の活動を振り返り、今年の課題を考えてみたい。

まず、毎月の交流会、研修会・セミナーや展示会の出展サポート等、仕組みとしての全般的な支援事業は軌道に乗ってきました。これらについては、今後、共通性の高いテーマで幅広い層を参加の対象とする取組みや、参加者が少なくても、入居者の事業の特性や個別のニーズにフォーカスした取組みを行う等の工夫を絶えず図っていきたいと考えています。一方、入居者ごとの個別の事業支援については、事業計画の相談や販路紹介等を行うこと等で、支援の評価を頂いている企業もありますが、一部の入居企業については、支援機能が十分に利用されていない面が認められます。

昨年末に、10年以上の歴史を有し、高い評価を得ているインキュベーション施設の運営を研修する機会を得たが、その所長の話の中に「『継続的支援』は『継続的接触』から」という言葉があり

ました。「事業支援を行う上で、継続的な接触を通じて、事業内容の把握はもとより、経営者等との人間的な信頼関係の構築が重要ということ」と理解し、共感する言葉でした。今年は事業支援をより有効にするために「『継続的接触』の充実」をセンター課題の一つとして取り組んで参りたい。

また、センターの支援システムの構築も進んできていますが、より実効の上がる支援システムであるためには、システムを構成する公共の機関、大学、協賛企業等の地域企業の皆様が、地域産業の振興という目的を共有した上で、入居者の事業サポートに積極的に参画していただくことが重要です。入居企業と支援者をつなぐ役割としても、ORICと「支援者」との「継続的接触」も重要になります。

ORIC 2年目の今年は、個々の支援事例の対応を通して、入居企業及び支援機関、大学、企業との「継続的接触」の充実を図り、ORICの支援の実効を挙げて参る所存ですので、今年も引き続きご支援ご指導をお願いいたします。

研修・交流会活動

■ ORIC交流会（11/13）

外部への参加呼びかけ

昼食を取りながら入居者の親睦と相互理解を目的とした入居者交流会（毎月一度開催）の第5回目が11月13日に行われました。今回から、入居者の事業をより多くの方に知っていただき、また入居者のネットワークの拡大にもつながること目的に、入居者以外の企業、支援機関の参加を呼びかけ、企業、大学、銀行からの参加をいただきました。事業紹介は㈱ネットワーク21とシックス㈱の2社が行いました。IT系の㈱ネットワーク21は同社製品ラインナップから入居者にも身近なものとして、エイジェント技術を使ってホームページのアクセス率を飛躍的に向上させるサービスを紹介し、同じくIT系のシックス㈱はインターネット関連の多様なビジネスアライアンス状況と最近岡山県から受注したウェブベースのTV会議システムの紹介をしました。

■ ORICセミナー（11/13）

「アライアンス戦略の進め方」

また、引き続き行われたセミナーではORICの非常勤IMである三菱総合研究所ベンチャー支援事業部長内海和夫氏が「アライアンス戦略の進め方」というテーマで講演しました。「アライアンスは事業展開のスピードを上げ、リスクを低減する効果があるが、他企業相手の事になるので、パートナーとの連携効果を上げるために、事業計画を再確認するとともに、アライアンスの目的を明確にし、win-winの関係を目指し、役割分担の十分な相互理解、アライアンス内容の文書化などが重要である」と講演しました。現在、入居企業の中でもアライアンスが具体化してきているところがあり、タイムリ且つ実用的なセミナーとなりました。

今後も、入居企業の事業支援の一環として、センターのスタッフ及び入居者のネットワークの拡大を図るとともに、皆様とのwin-win関係構築にも役立ちますよう、ORIC入居者交流会の運営を図っていく予定です。関係者の積極的なご参加を歓迎します。

■ ORIC交流会（12/12）

事業紹介 オーニット㈱

今年最後の入居者交流会は12月12日に行いました。12月ということで、支援スタッフルームから出席者にケーキの差し入れがあり、早めのクリスマスを祝いました。事業紹介はオーニット㈱が行いました。オゾンの殺菌機能、脱臭機能、鮮度保持機能を据え置き型と可搬型の両タイプに製品化しており、厨房、食品工場、保冷庫の殺菌、食品の殺菌、保存、ホテル客室や自動車の室内の脱臭、医療施設等の消毒など、広範な応用事例を説明しました。ここまで来るのに数多くの失敗を経験したと、ベンチャーの道が決して平坦ではなかったと話され、失敗にくじけない事の大切さを強調されていました。

■ OIAセミナー（12/12）

「マーケティング実践セミナー」

引き続き、OIA（岡山インキュベータ協議会）、JETRO（日本貿易振興機構）共催のセミナーが行われ、(有)アミックコンサルタンツ代表取締役 内池滋氏による「マーケティング実践セミナー」と㈱オルカプロダクション代表取締役 北澤 至氏による「米国進出ベンチャー企業に学ぶ事業成功のヒント」の二つの講演と名刺交換会が行われました。

「顧客・販路づくり 10の原則（基礎編）」と題する内池氏の講演では、継続して厳しい競争にさらされる現在の市場で勝残するには、まず顧客像を明確にし、「売りモノ」の価値を鮮明に主張する必要がある、「分らないモノは買えないので」判らせ方も鮮明でなければならないと指摘、また商品完成前から販路構築を始め、顧客やチャネルの妥当性を確かめ、値ごろ感も掴み、実際の販売の時期・方法・供給量などを決める知恵を得ることが重要であると話されました。



事業紹介：オーニット㈱の仁戸田社長

入居者の活動・トピックス

■ビジネスマッチング in香川

(術)エフ・エス・ケイが出席

10月2日にORICで行われた「岡山・香川ベンチャーブリッジ1」に続く第2号イベントは10月21日と22日の二日間、高松市のサンメッセ香川で行われた「ビジネスマッチング in 香川」です。財団法人かがわ産業支援財団主催で、JETRO他の共催、四国経済産業局と香川県の後援を得て行われました。県外産業支援機関推薦企業として岡山県から3社が展示参加しましたが、そのうちの1社がORIC入居中の(術)エフ・エス・ケイです。同社は保育園システム「うちの子どこかな」を前面に出して活発な営業活動をしました。今もそのときの香川県案件をフォロー中とのことです。ビジネスマッチング in 香川では、全部で70社の展示、11件のプレゼンテーション、9件の大学、研究所などのシーズ発表、3件のビジネスセミナーが行われました。

■中小企業テクノフェア 岡山テクノプラザ'03 in 東京ビックサイト

**展示出展：インタロボット(株)、シックス(株)、
(株)メレック**

ビジネスプラン発表：アドテック(株)、オーニット(株)

10月29日から10月31日の期間、2003年中小企業テクノフェアが東京ビックサイトで開催されました。中小企業テクノフェアは、わが国中小企業の優秀な技術、製品等を一堂に展示し、紹介すると共に、新規取引の開拓、広域的な受注機会の拡大等を図ることを目的に毎年開催されています。出展企業によるビジネスマッチングやプレゼンテーションの場や、中小企業を支援する大学・公的研究機関の技術シーズや資金・人材・技術等を支援する各種支援機関の施策紹介の場が設けられています。今回は、410企業、42グループが出展されました。

岡山テクノプラザ'03 in東京は、(財)岡山県



ベンチャープラザ岡山会場風景

産業振興財団が中小企業テクノフェアの一角に、スペースを確保し、県内中小企業の技術・商品の出展を支援し、販路開拓や資金・ビジネスパートナーの確保などの事業支援を目的に開催されました。県内企業15社が出展し、8社がビジネスプランの発表を行いました。ORICからは、インタロボット(株)、シックス(株)、(株)メレックが出展し、アドテック(株)、オーニット(株)社がビジネスプランを発表しました。

期間中に中小企業テクノフェア等の会場には9万人を超える入場者が有ったとのことです。



インタロボット(株)、東京ビックサイト展示会場にて

■ベンチャープラザ岡山 2003

(術)アイ・エス・ティ、アスクラボ(株)が出展

11月20日にベンチャープラザ岡山2003がCOMEX岡山で催されました。

ベンチャープラザ岡山は、産業活性化のために、新規事業の創出や既存企業の新規分野進出の促進を支援する一環として、ベンチャー企業や創業者の為に資金提供者やビジネスパートナー、人材との出会いの場を提供することを目的に、岡山県、岡山県産業振興財団等、多数の機関の主催・後援で開催されており、今年で6回目となっています。

今年はより多くの方に参加して頂けるように、従来

のテクノサポートでの開催から場所を移して、CONVEX岡山にて開催されました。

当センターからも、(有)アイ・エス・ティ社が、IT診断書、グループウェア&ロボットを用いたIT教育・教材を展示し、アスクラボ(株)社が、Proナビ(ビジネスプロセスのナビゲーションシステム)を展示しました。両商品とも、引合いが増えており、今後の事業発展が期待されます。また、人材マッチングにはアドテック(株)が参加し人材確保を図りました。

今年のベンチャープラザのもう一つの目玉として、岡山県が今回初めて実施した起業家発掘プロジェクト『ベンチャー・ビジネスプランコンテスト』の最終審査が本会場で行われました。この審査の最優秀賞受賞者は、賞金500万円を得ることができると共に、研究開発を行う場合には、当インキュベーションセンターに入居でき、研究室1室の使用料が最長3年間免除されることになります。更に、県内ベンチャーファンドの仲介や(財)岡山県産業振興財団のサポートが受けられる等種々の特典を得ることが

できます。

今回は、ビジネスプランコンテストには全国から109件の応募があり、最終審査に残った7件の中から、玉野市の矢島光明さんの「靱殻燃焼灰を原料とする低コスト高機能シリカの製造の国際的事業化」が最優秀賞になりました。矢島さんが、インキュベーションセンターの仲間に加わり、事業基盤の早期の確立と飛翔されることを期待します。



ビジネスプランコンテスト表彰式の様子

★TOPICS>>>

(株)メレックから(株)レックウェルが独立、新会社

オープン時から入居し(株)メレックの一部門としてeラーニング事業に取り組んできた営業開発部が、同社の子会社として独立、新会社(株)レックウェルとして営業開始しました。

教員の使い易さの視点から構築された同社のeラーニングシステムは昨年11月には同志社女子大学で試験運用が始まり、また12月には仏教大学に納入され、通信教育に向けた使い込みが行われており、新会社設立を機に、一層の事業拡大が期待されます。

(有)ビークル、バイオビジネスコンペ JAPANで本選会へ進み、最優秀賞を目指す

第4回 バイオビジネスコンペ JAPANの事前審査会(12月4日)で、ORIC入居者の(有)ビークルが優秀賞に選ばれました。最優秀賞受賞者は、来る4月15日の本選会で、優秀賞受賞者の中から、選ばれます。(有)ビークル社は中空のバイオナノ粒子を用いて、次世代のドラッグ・デリバリー・システムを開発している大学発ベンチャーです。同社の研究は、論文誌「nature biotechnology (AUGUST 2003)」にも取り上げられ、また、血友病の遺伝子治療の早期実現に向け、ベルギーの大学との提携が日刊工業に取り上げられるなど注目を集めております。

本選会での結果が楽しみな企業です。

※注)バイオビジネスコンペ JAPANは大阪府、大阪商工会議所、(社)関西経済連合会等から構成されるバイオビジネスコンペ JAPAN実行委員会主催で、東大を始め多くの大学が共催し、各地域の経済産業局や団体、企業の後援、協賛を得て開催されています。

賞金も最優秀500万円×2件程度と価値のあるコンペになっています。

シックス(株)、TV会議システム岡山県へ納入決まる

シックス(株)が ORICで開発してきたテレビ会議システムが岡山県に納入され 12月 16日稼動開始しました。同社は「eKAIGI」というウェブ会議用パッケージソフトを開発しており、活発な営業活動をしています。今回はこのパッケージをベースに県の要求による拡張機能と運用・保守を含めて提案し、競合を制して受注しました。県は「晴れの国 Web会議室」という名称で県内の県、市町村を対象に運用開始、本年度中には医療機関、福祉施設などにも開放する計画です。

従来のテレビ会議システムは専用システムが必要で非常に高価なものでしたが、このシステムではパソコンに安価な PC用カメラを接続し、ホームページアクセスの簡単操作をするだけで百人までのテレビ会議ができます。16日に行われた開始セレモニーでは県庁と岡山大学病院（岡山市）、阿波小学校（阿波村）、万富公民館（瀬戸町）を結んで遠隔会議を行い、その様子はテレビ、新聞などで報道されました。県は 2004年度以降庁内、市町村との会議を全てテレビ会議に切り替えることで、約2億3千万円の経費節減を見込んでいます。

ORIC研究室で開発を担当しているシックス(株)メンバはいずれも知る人ぞ知る深夜族ですが、今回の受注、運用開始で、その努力が報われたのではないのでしょうか。同社の URLは「<http://www.sics.jp/>」です。同社の多彩な事業内容を見ることが出来ます。

★TOPICS>>>

入居企業の紹介

有限会社アイ・エス・ティ

吉井社長は幼少の頃よりパソコンに興味があり、ITの可能性に魅かれ世界有数の外資系の IT企業でエンジニアとしての技量を磨いてきました。岡山においてバイオと ITの融合を目標に掲げたバイオベンチャー起業を計画していた大学教授と知り合い、岡山に Uターンすることになりました。また起業を視野に入れ技術もより強固なものにするため、岡山県立大学大学院の博士課程に入学し、2002年度から始まった (財)岡山県産業振興財団主催のブレインキューベーションセミナーに 1期生として参加し、そこで ORIC 2003年 4月オープンの情報を得て起業を決意し、入居を果たしました。

同社の提供サービスは、「IT診断書」「ITリフォーム」「ITサポート」の一つの流れを組んだ一環したサービスとなっており、コンピュータを導入したけど思ったように成果が出ない、専門家に話を聞きたいが誰に何を相談すればよいか判らないなど、

悩みを持つ中小企業に対し、現状の調査から入り、その結果から顧客に効率的な情報投資を提案し、構築、運用も支援するというものです。現在も「ITリフォーム」で商談が活発化しているそうですが、面白いケースではある雑誌に紹介記事が掲載されたことから既存のシステムに問題を抱える顧客から「IT診断書」を受注し、調査結果から顧客の気づかなかった問題点を明らかにすることで顧客が本当の意味の IT化に気づいたケースとなり、引き続き「ITリフォーム」に向けての商談になっているそうです。ORICに入居していることで色々なメディアで取り上げられ、知名度も上がり、商談成立・信頼度の向上につながっているようです。アイ・エス・ティの活動については、「<http://www.ist-japan.co.jp>」をアクセスしてみてください。

株式会社ネットワーク 21

(株)ネットワーク 21は香川県高松市に本社を置く会社で平成 11年設立。情報処理システム、通信システム関連の様々な事業を展開中です。高松市から岡山の ORICに入居した理由は、ORICが先端のネットワーク「岡山情報ハイウェイ」と直結しており、高速・大容量のネットワーク環境を活用して研究開発できる事、また総務省が「ITビジネスモデル地区」として全国 8地区を選んだ中に岡山が含まれており、ORICに入居する事で、所謂「おかやま IT特別経済区」としての充実した支援を受ける事が出来る事だったそうです。また、あわせて中国地方の企業や大学との連携による販路拡大、総合技術力向上を目指しており、具体的な成果も出始めているそうです。

現在、最も力を入れているのはインターネット関連事業で、同社の新サービスは 10月の山陽新聞に

も報道されました。これはインターネットユーザがホームページ (HP)検索した時に、自分の企業が HP検索サイトで上位に表示されるようにする技術で、数週間から数ヶ月に渡り、ネット上で検索頻度の高いキーワードを調べ、売り込みたい商品・サービスの HPでの説明コンテンツに適切な言葉を盛り込むサービスです。これにより、企業の電子商取引の売上拡大を支援します。このサービスについては、11月の ORIC定例の交流会で事業説明の一環で説明してもらいました。ORIC入居企業に限らず、ホームページを持っている企業には広くこのサービスが役立つのではないかと期待されています。同社の URLは「<http://www.nw21.co.jp/>」で、ここにはこれ以外の色々なサービスについて説明があります。

第 4、5 回入居審査を終えて 一新入居者の紹介ー

ORICでは 3ヶ月に 1度、センター関係者や各分野の専門家を審査委員に迎え入居審査会を行っています。第 4、5 回審査会はそれぞれ 8月と 11月に行われ、新たに 5 社の入居が決定しました。

入居内定企業名 代表取締役	事業の概要	本社所在地	分野
(株)ジャパン・ブレインズ・ネット 入矢 眞充	生・損保福利厚生サービスのネット販売システム、顧客管理システムの開発	岡山市	IT
(有)光フィジクス研究所 渡部 明	レーザー機器のグランドデザイン、レーザー機器制御装置の製造販売	岡山市	ものづくり
(株)フードテックス 清岡 久幸	竹の有効活用による研究開発及び製造販売	大阪府吹田市	ものづくり
(株)夢石庵 三谷 興一	オカラはじめ大豆素材を利用した乳酸菌、テンペ菌による発酵食材の開発及び同食材製造プロセスの販売	広島県福山市	ものづくり
enrich hope 小原 和也	建設業の本社・現場を結ぶ工事日報管理システムの開発	岡山市	IT

現時点 (2004年 1月 1日現在)での入居者数は 36社、入居室数は 46室になります。

入居者の内訳は、分野別では IT関連 16社 ものづくり 20社
所在地別では 県内 27社 県外 9社 になります。

イベント案内

■第8回岡山リサーチパーク 合同研究発表会

岡山県の研究開発拠点「岡山リサーチパーク」を中心とした県内企業及び機関の研究結果が広く発表されます。また、合わせて特別講演、展示会「独創的起業化シリーズ発掘事業」ポスターセッション、交流会が開催されます。

日時：平成 16年 1月 27日（火）

10:00～ 18:30

場所：岡山リサーチパーク

お問合せ：

(財)岡山県産業振興財団 技術支援部

tel. 086-286-9651

■岡山テクノプラザ'04 in大阪

県内ベンチャーや中小企業対象に、ユーザーや投資家等の集積の厚い大阪で「商品の展示説明や商談の場」、「資金・技術・経営などのビジネスパートナーとの出会いの場」が設けられます。

日時：平成 16年 1月 27日（火）

会場：大阪産業創造間 3階マーケットプラザ
(大阪市中央区本町 1-4-5)

お問合せ：

(財)岡山県産業振興財団 経営支援部

tel. 086-286-9626

■ベンチャーフェア JAPAN 2004

公的機関が行う（経済産業省中小企業庁、中小企業総合事業団主催）日本最大級のベンチャー企業イベントが6年目を迎え、平成 16年 1月 21日（水）、22日（木）に東京国際フォーラム展示ホール1、2で開催されます。252のベンチャー企業・支援機関が出展し、基調講演・セミナー・パネルディスカッションが開催されます。ORIC入居企業からは(株)バイオバンク、インタロボット(株)、(株)メレック（(株)レックウェル）が出展します。

詳細：<http://www.vfj2004.com> お問合せ：ベンチャーフェア 2004 JAPAN事務局 tel. 03-3524-0785

入居者募集中！！

ORICでは、意欲と能力にあふれたベンチャー企業の入居を募集しています！！

随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。

■施設使用料

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室 小	約 25 m ²	22	45,000 円
研究室 中	約 50 m ²	30	88,000 円
研究室 大	約 100 m ²	6	175,000 円

・入居後3年間は、更に1／2減免の制度もあります。

・複数室の利用も可能です。

■募集概要

対象：情報通信や、ものづくり分野を中心に
新技術・新製品の開発、創業を目指す
個人・グループ・企業。

期間：3年以内（再申請もできます）。

審査：入居にあたり、審査があります。

■次回募集

原則として3ヶ月毎に入居者審査会を開催しています。

今回は2月末日までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中旬に審査会の開催を予定しています。

（参考）【入居可能研究室】（2004年 1月 1日現在）

研究室大（50m²）：5室

研究室小（25m²）：3室

試作開発室（100m²）：4室

■お問い合わせ

岡山リサーチパークインキュベーションセンター

TEL: 086-286-9116 FAX: 086-286-9117

E-Mail: info@oric.ne.jp

詳細はORICホームページをご覧ください。

<http://www.oric.ne.jp>